授 業 概 要（シラバス）

■科目基本情報　　専門学校日本ホテルスクール

科目番号	MS502	分類	講義科目
授業科目名	婚礼衣装	英文授業科目名	Wedding Costume Fundamentals
年度	2023年度	年次	昼間部　1年　　ブライダル科
開講学期	通年	授業の方法	講義
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	清水　智子　　実務経験あり		
経歴	株式会社 丸三屋 （本店、アイビーホール青学会館、ホテルメトロポリタン池袋、アートグレイス・ポートサイドヴィラ の店舗にて勤務） 東京観光専門学校、東京ホテルビジネス専門学校 にて非常勤講師経験		

■授業・科目情報

学習目標	婚礼費用の中でも大きな割合を占める上に、新郎新婦の期待度が高い婚礼衣装。コンセプトにより着用する衣装も変わる。それだけに、結婚式に関わるスタッフは衣装についてアドバイスができることが求められる。よって、メンズやウェディングドレスのみならず需要の増える和装や列席者の衣装について理解し、さらに、それら衣装の入手方法、そのメリット・デメリットを知る。
教科書	「ブライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター

授業計画

回数	内容
1	授業ガイドライン、目的等の説明。自己紹介。自分を褒めてみよう。衣装選択の基準を学ぶ。
2	新婦洋装（種類、お色直し、シルエット）を学ぶ。
3	新婦洋装（ネックライン、スカート、トレーン）を学ぶ。
4	新婦洋装（スリーブ、生地、レース、ベール）を学ぶ。
5	新婦洋装（ヘッドドレス、グローブ、シューズ、インナー）を学ぶ。
6	フォーマル、ドレスコードについて学ぶ。
7	接客（スタイリストとしての留意点）を学ぶ。
8	ペアワーク　友達にヒアリングし、コーディネートしてみよう。
9	新郎洋装について学ぶ。
10	衣装を着る為に必要な物、取り扱う際の注意点を学ぶ。
11	前期復習、まとめ。
12	前期試験
13	前期振り返り、新婦和装について学ぶ。
14	新婦和装（小物類）について学ぶ。
15	新郎和装について学ぶ。
16	列席衣装について学ぶ。
17	接客（販売力、単価アップにつながる方法）を学ぶ。
18	接客（販売力、単価アップにつながる方法）を学ぶ。
19	衣装の調達方法やオーダーメイド、採寸方法を学ぶ。
20	衣装における緊急時やトラブル発生時などケースバイケースな対応について学ぶ。
21	着装実習
22	着装実習
23	後期復習、まとめ。
24	後期試験

授業の進め方	婚礼衣装やフォーマルウェアについての基礎知識を学びながら、多種多様なお客様への対応や接客方法を理解する。接客をする上での言葉、モチベーションなど、必要で実践しやすい方法を伝え、ブライダル業界や接客業への憧れを失わないとともに醍醐味を想像させる。
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	『ブライダル総論1』『ブライダル総論2』『ブライダルマーケティング＆セールス』『ブライダルマネジメント』
参考書	教科書「ブライダルの装美と演出」
学生へのメッセージ	衣装は「あなたの魅力を引き出し、二人らしい結婚式の空間アイテムになる」ということをお伝えしていきます。日常に例えたりイメージしやすいように進めていきますので、一緒に楽しんで学んでいきましょう！

以 上